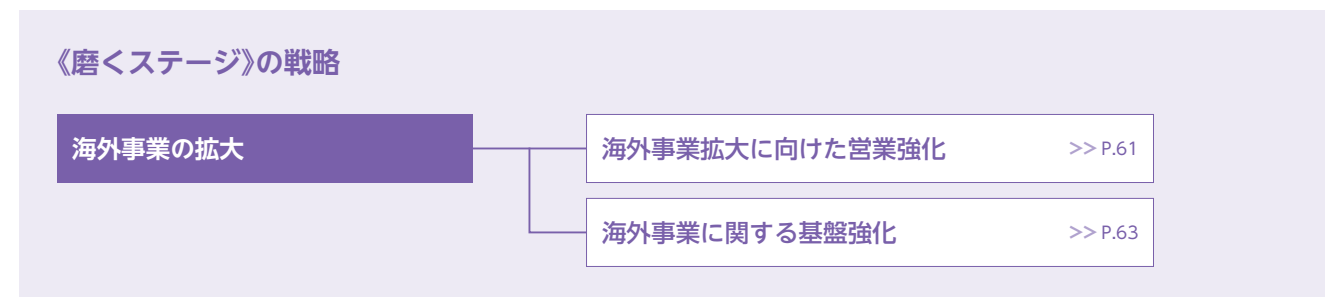


事業戦略 ▶ 海外事業の拡大

ダイダングループの海外事業は、シンガポール、タイランド、ベトナム、及び台湾の4地域で展開しています。2021年4月から2030年3月期の9年間の長期ビジョン〈Stage2030〉のPhase1《整えるステージ》中期経営計画では事業戦略の一つに「海外事業の強化」を掲げました。そして昨年度スタートのPhase2《磨くステージ》中期経営計画では「海外事業の拡大」を掲げ、海外事業を「成長を牽引する事業」としています。

当社の海外事業の中心となるシンガポールでは、2024年10月に持分法適用会社であるPresico Engineering Pte. Ltd.（以下Presico社）の発行済株式のうち30.0%を追加取得し、これにともないPresico社を連結子会社といたしました。Presico社の経営の自主性やブランド力を引き続き維持しながらも、一層のシナジーを創出することで、企業価値拡大を目指してまいります。

戦略展開図



海外事業拡大に向けた営業強化

海外事業の主要エリアであるシンガポールでは、1977年の進出以来、チャンギ国際空港をはじめとした数多くの施工実績を有しています。また同国内での人的ネットワーク、空調・電気・機械設備・総合設備の各領域での最高水準ライセンスを活かして、国家主導の大型案件の受注に積極的に挑戦しています。

2024年10月には、民間工事の施工実績が豊富な現地資本のPresico社を連結子会社化することにより、グループ全体で、さらにシンガポール・ローカルマーケットにコミットした受注活動を展開しています。

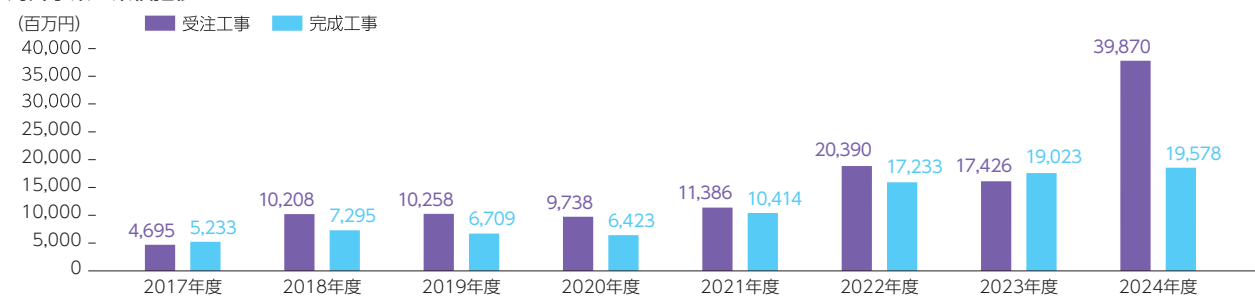
日系企業が多く進出しているタイ、ベトナム、有力な半導体製造企業の多い台湾では、国際事業本部に海外拠

点と国内の営業本部を結ぶ専門の営業担当を設け、長年国内で培ったお客さまとの関係性を活かし、グループ全体で案件の早期捕捉と、内外一体でのきめ細かい営業活動を展開しています。

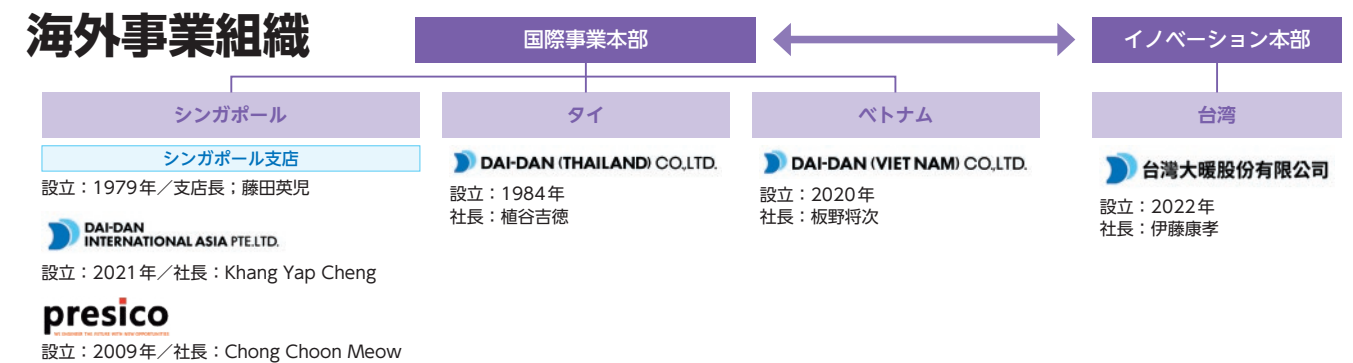
ローカル化、大型化が進む中、リスク管理の徹底も重要になっています。営業、技術、業務等各本部が海外拠点と一体となって営業段階から施工まで一貫したリスク管理体制を構築しています。

技術者のローテーションや研修、現場への積極的な日本人社員の投入を通して、営業、技術、事務の各領域でグローバル人材を育成し、グループとして内外を意識しないビジネス拡大を牽引できる力を蓄えていきます。

▶ 海外事業の業績推移



海外事業組織



海外各拠点

シンガポール（支店、現地法人ダイダインターナショナルアジア）

当社の海外事業の中核であるシンガポールには、支店と100%子会社の現地法人Dai-Dan International Asia Pte. Ltd.、及びPresico Engineering Pte. Ltd.（下記参照）の3つの拠点が 있습니다。現在前者2拠点では2024年度に受注したシンガポールで初めて建設する最高防御レベルのバイオハザード研究施設に日系ゼネコンと取り組んでいます。

またシンガポールでは、病院やリゾート施設の大型プロジェクトの計画が多くあり、これらに継続して参画できるよう、日本からの支援を得て取り組んでいます。

シンガポール（Presico社）

Presico社は、2009年3月にシンガポールに建築設備会社として設立されました。

Presico社は、シンガポール国立大学などの教育機関施設、マウントエリザベス病院などの主要な医療機関、その他さまざまな商業施設や集合住宅など、多様なプロジェクトの実績があります。

近年では、シンガポール陸上交通局（LTA）の公共電気バスのインフラ建設を施工し、その後も継続してシンガポール全土の公共交通の電気化事業に参画しています。

2024年10月にダイダングループの1社となり、グループ内の他のシンガポール拠点と連携し、相乗効果を高めてまいります。

タイ（ダイダンタイランド）

1984年設立、41年目を迎えたダイダンタイランドは、タイ国内日系工場向け設備工事会社として多くの工場新設工事に携わってきました。現在は工場の新設、増設工事だけでなく老朽化した設備の診断、維持、管理、更新、太陽光発電導入の工事等々、「工場の頼れる町医者」の立場を目指して活動の幅を広げています。

なおダイダンタイランドは、バンコク本社のほか、チョンブリ県・ランブーン県に営業所を設置し、タイ国内3拠点体制で対応しています。



DAI-DAN INTERNATIONAL ASIA PTE.LTD.



presico
WE ENGINEER THE FUTURE WITH NEW OPPORTUNITIES



DAI-DAN (THAILAND) CO.,LTD.

ベトナム（ダイダンベトナム）

設立5年目のダイダンベトナムでは、ベトナム北部、中部、南部を問わず施工体制を整え、業績拡大を目指しています。タイと同様、日系のお客さまを中心に受注活動を行っています。ベトナムでは承認申請等の遅れなど、建設プロジェクト遂行に多くの障害がありますが、日系ゼネコンの指導を仰ぎながら対応しています。



DAI-DAN (VIET NAM) CO., LTD.

台湾（ダイダン台湾）

2022年3月に設立した現地法人ダイダン台湾では、世界有数の半導体メーカーがひしめく台湾にて、日本国内で実績のある「超臨界CO₂によるフィルタ・吸着材の再生サービス」の展開を行っています。

台湾では、このような環境サービスに対する意識・ニーズが高いこともあり、パートナー企業と連携して、普及活動に努めてまいります。



台湾大暖股份有限公司

海外事業に関する基盤強化

グローバル人材の育成

海外事業の基盤強化で最も重要な事項のひとつは、グローバル人材育成だと考えています。当社では定期的にプロジェクト単位で現場研修を実施しています。



Castem Vietnam precision mechanical factory（ベトナム）
空調・給排水衛生・電気設備工事



（2023年10月～
2025年4月研修）
佐藤 陽輝

研修生の声

私は研修生としてベトナムのCASTEMプロジェクトに参画しました。初めての海外業務でしたが、周りのサポートもあり、労災ゼロで工期内に現場を納めることができました。今回の研修はコミュニケーションや生活習慣の違いなど苦労した点は多くありましたが、私のキャリアにとって貴重な経験となりました。



常務執行役員
国際事業本部長
高比良 満

国際事業本部長メッセージ

当社は、海外事業の規模を毎年拡大することを目標としていますが、それにとともないリスク管理の重要性が増しています。例えば受注先の工事代金未払いや支払いの遅れ、協力会社の倒産、及びこれらにともなう訴訟リスクなど顕在化する可能性の高いリスクが多くなってきました。そこで2025年4月より、日本国内の海外事業担当部署を強化し、客観的な目でリスクの洗い出しができる体制をとっています。また国内の各本部より、定期的に現地を訪問し、国内と海外の連携を強化しています。

海外事業においては、上記のほか、グローバル人材の不足など多くの課題がありますが、さらなる事業拡大と健全な事業活動に向けて継続的に取り組んでまいります。